

## 北神けいろうの国政報告：8月号

○いつも大変お世話になっています。

先月は、「社会保障と税の一体改革」について説明させていただきました。また、増税の前にやらなければならないこととして、これまでの行政改革についても触れてきました。今月は、政治家自らの「身を切る」改革について、ご報告申し上げます。

### 定数削減について「与野党合意」できず

○これまでは、マニフェストに「衆議院定数を80削減」と主張していたこともあり、その実現のために野党との協議に臨んできました。

しかし、野党からはそもそも定数削減に反対する意見から、小選挙区制度そのものへの反対(中選挙区制度の復活)が相次ぐなど、まさに百家争鳴の状況となりました。

議員の身分や各政党の勢力に大きく影響することですから、難しい議論となることは予想されましたが、最終的には合意に至りませんでした。

こうしたことから、やむを得ず、民主党単独で定数削減などの改正案を提出することになりました。

その内容は、以下の通り。

- 一票の格差の是正(小選挙区を5減)
- 定数を45人削減(比例40人削減、小選挙区5減)
- 一部連用制的な比例制度の導入とブロック比例から全国比例への改正

私たちの当初の主張(80人削減)から後退してしまったことはお詫びしなければなりません。しかし、これ以上野党と協議を行っても、あまりにも議論が拡散するとともに、結論を出すことが困難でした。

それでも、45人削減することは、史上最大の削減幅となります。少しでも「身を切る」改革を前進させるために、これまでの議論を踏まえた上で、上記のような改正案を提出したわけです。

### 引き続き、野党の協力をお願いしていきます!

○自民党をはじめ野党各党は、「一票の格差是正」については協力してくれそうですが、「定数削減」については、各党とも反対の姿勢は変わりません。

残念ではありますが、私たちは増税をお願いする立場から、この改革を進める必要があると確信しています。今国会中に実現できるよう、引き続き、粘り強く野党への協力をお願いしてまいります。